

# 20年12月定例会 議案に対する質疑

## 地域振興基金条例

Q 地域振興とは具体的に、何を想定しているか。

A 当初の合併づくり計画にあがっているものを考えている。

Q 十億円の基金をつくらって財政状況が良くなったというより、町民の方が何を望んでいるのか考え柔軟に集中的な投資をするべきではないか。

A 町の発展のため、また町民の要望に応えるためには、今後実施する事業の財源を確保する必要がありと考える。そのため、私の任中に基金を積み立てるものである。

合併後、新しい町の基盤づくりを最大の課題として、総合計画の着実な推進と持続可能な財政運営の健全化に努めてきた。今後は、さらなる町の発展のため、この基金を新しい町長のもと、町民の要望に応えられるよう使って頂きたい。

## 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

Q 職員の地位の面からいうと前進だが、時間当たりの給与の算定にどのような影響が考えられるか。

A 公務効率のいっそうの向上をはかり、行政サービスの低下をまねかないよう考えている。給与については、現行どおりである。

## 国民健康保険条例の一部改正

Q 産科医療保障制度で保障されるのは、脳性まひだけか、制度の概要は。

A 出生体重が二千g以上かつ在胎週数三十三週以上で、身体障害一・二級相当の重症脳性麻痺の状態で出生した場合、総額

三千万円を保障する制度で、分娩機関が保険料を支払い、保障対象となる脳性麻痺が生じた場合、保険金が支払われる。発症の原因分析も行い、将来の脳性麻痺の予防に役立つ制度である。

## 二十年度一般会計補正予算

Q 一般管理費の消耗品費百二十万円余りとコピー使用料百万円は、どういふ事情によるものか。

A 業が減少しそれに伴い一般管理費からの支出が増えるため。

Q 防災無線個別受信機購入費のうち在庫確保のための二十機は、デジタル無線が運用されるようになったとき対応できるのか、もし使えないなら無駄ではないか。

A 二十年度後半と二十一年度分を考えている。デジタルには対応していないが二十一年度に行きたい。

Q 指定管理者選定委員はどのような考えで選んでいるのか。

A 審査の専門性、公平性を期するために施設関連委員を設け、固定委員六名と合わせて、一施設十名で審査を行うこととしている。固定委員には税理士等専門的な知識を持った方、施設関連委員にはその施設をよく利用される方をお願いしております。専門性は確保できたのではないかと考える。

Q 写真美術館の備品修繕費が三百万円あまりか



気合が入ってます (日光ふるさとまつり)

## 公の施設に係る指定管理者の指定

Q 指定管理者を三者で行

かっているが保険は掛けていなかったのか。

A 映像システムの修繕費であり、最低限の修繕料とするため、システムの中の壊れた二つの機器だけを修繕するものである。保険は掛かっていない。

Q 伯耆町地域振興株式会社は、代表者が住田町長になっている。指定管理に出す者と受ける者が



消防出初式

同一なのは好ましくないので改善の方向で議論があったがその後どうなったか。

A 各団体にできるだけ避けたいと交代を求めているがなかなか後任が決まらない。

Q 指定管理制度のメリット・デメリットのある中で、この制度が行政になじむものなのか。

A 一概に言えないが、赤字が出たからといって行政が補填するのではなく、それぞれの団体がそれなりのノウハウをいかしてより良い運営ができるようにという事と同時に民間は民間のノウハウを活かして経営改善に努めている。

Q 二期めの指定管理者の募集だが、一期めの成果についての総括は。

A 契約期間が終わり、それぞれ総括してこれまでの状況をふまえて新しく管理に出している。公の施設の管理については、当初の目的は果たしていると考えている。

みんなが知りたい……

## 全員協議会

十一月五日開催

◎平成二十三年度からの米子市クリーンセンターへの暫定搬入「可燃」について (報告)

平成二十三年度から平成二十七年の五年間について米子市クリーンセンターに収集可燃ごみを搬入

◎寄附申出者寄附金申出について (報告)

米子市 (有) みつわ衛生社 寄附の目的

平成二十年九月一日で法人設立満五十年を迎えるにあたって営業地域である本町に地域貢献のため寄附 寄附申出額 百万円

◎水防倉庫 (吉定) の破損について (報告)